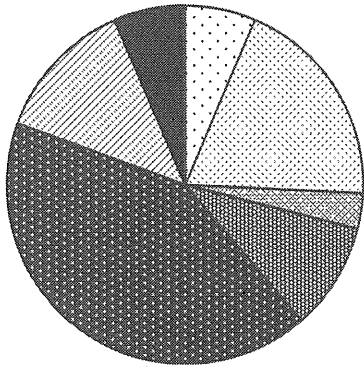


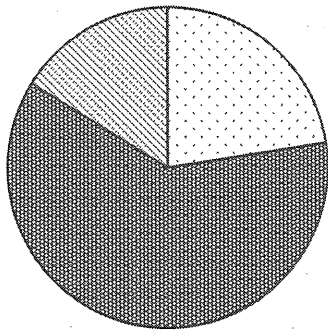
1 参加者の所属



- 保育機関
- 中学校
- 高校
- 福祉機関
- 行政機関
- 保護者
- その他

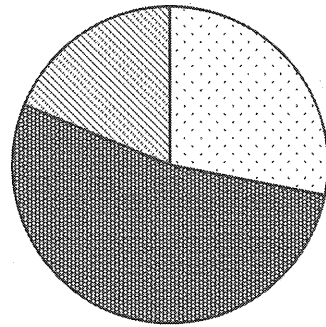
2 内容の理解度

① 子ども・若者の心の状態や陥りやすい傾向
(不登校、ひきこもりなど)



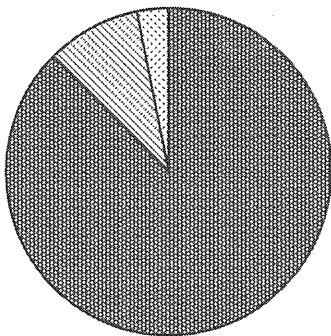
- よく理解できた
- おおむね理解できた
- 少しは理解できた

② 生きづらさや悩みを抱える子ども・若者への対応



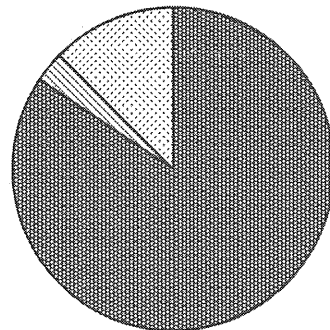
- よく理解できた
- おおむね理解できた
- 少しは理解できた

3 (1) 講演会の内容について



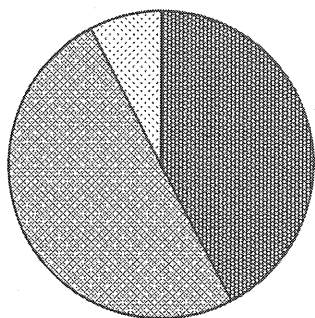
- ちょうどよかった
- 難しすぎた
- 簡単すぎた

(2) 講師の説明について



- わかりやすかった
- わかりにくかった
- どちらともいえない

4 今回の講演会は今後の対応に役立つか



■とても役立つ ■役立つ □やや役立つ

5 感想等

- ・ 相談を受けた時、どんな提案ができるか、本当に重要だなあと感じました。今日は本当にありがとうございます。
- ・ 制度のすき間を支援しているという事で、このような”しくみ”が全国的に広がって欲しいと思いました。本町においても町を上げ支援体制を是非つくってほしいと思いました。
- ・ “中間領域の人”の存在について考える時間ももてました。私もそんな方のおかげで今があると思いました。大切にしていきたいです。ありがとうございました。
- ・ 子どもの居場所づくり、その人にとって何が必要か、寄り添う事が大事だと気づかされました。
- ・ おせっかいおばさんになれたらいいなあと感じながら、居場所作りの大切さを痛感させていただきました。ありがとうございました。
- ・ 支援方法なども大変わかりやすく説明していただきありがとうございました。
- ・ こんな取り組みが少しでも与論にあればとの思いでいっぱいでした。様々な制約がある中、0から体制・しくみを作りあげる情熱と知識は本当に尊敬します。私も私の立場でできることを精一杯していきたいです。
- ・ 与論町という狭いコミュニティーの中で「関係が近すぎるから…」という理由で、互いに相談できない、おせっかいできないという状況もあると感じました。課題として考えていこうと思いました。
- ・ セーフティーネットとして活躍されている講師の方々、関係者に敬意を表します。つなぐ、関わられる人が関わる姿勢が重要。みんなが最高値目標を共通理解することが大切。
- ・ 資金面、マンパワー様々なご苦勞があろうかと思いますが、本当に心から困っている子どもたちや大人への寄り添う気持ちがすばらしいです。
- ・ 見つける。つながる。広報活動と相談しやすい雰囲気づくりが大切とのこと。今必要なのは傾聴だけでなくどういう提案ができるかということを知り勉強になった。今後の支援に役立てればと思う。
- ・ この狭い与論でも少しずつ人と人のつながりが薄れてきていることを感じます。昔のおせっかいな人は大事だったのですね。日々、みんな精一杯生きていて感じています。私なりに私にできるおせっかいで、子どもたちの話を聞いてあげたいと改めて思いました。「人にも自分にも興味がなくなった子」というのは寂しいと感じましたが、写真を見て「希望」が見えました。これが

令和3年度与論地区子ども・若者支援者研修会 参加者アンケート

ら仕事に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

- 24 時間体制で相談・受け入れできる施設や、なんらかの理由で学校に行けない子供の居場所の必要性を感じた。
- 有言実行。大変参考になりました。
- 後半のお話をもっと詳しく聞きたかったです。
- すばらしい活動をありがとうございます。
- 先生の話聞いて「ほうぼく」の奥田さんのお話を思い出しました。人との関わりの中での出来事が原因でしんどい事は、人との関わりの中でしか復活が難しいこと。制度にのらないスキ間の支援の必要性、傾聴だけでなく具体的な提案の必要など、自分も支援者として日々考えています。とても勉強になりました。ありがとうございました。
- 身近にこのような相談場所があれば、子供たちの居場所、自身の存在を感じられる場所になるのでいいなあと思いました。ありがとうございました。
- つながりの大切さなど、色々学ぶことができました。24 時間体制は本当に必要だなあと思いました。
- 具体的な話をたくさん聴けてよかった。
- 訪問先で相手が嫌がることや警戒していることを考えることなく、定型文・定型的な質問をしてしまっていることを思い出しました。信頼を得るようなコミュニケーションや、訪問のスタンスを今一度考えなおさなければいけないなと思います。

徳保第211号
令和3年11月15日

大倉 一真 様

徳之島保健所長 相星 壮吾

令和3年度与論地区子ども・若者支援者研修会について（お礼）

時下、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

先日の標記研修会について、御多忙中にもかかわらず講師として御協力を賜り、誠にありがとうございました。

お陰様で、無事研修会を終了することができました。厚くお礼申し上げます。

研修後のアンケートでは、別添のとおり「つながりや寄り添うことの大切さに気付くことができた」「与論に同じような取組がほしい」等の意見があり、参加者それぞれが今後の与論島での支援のあり方を考える貴重な時間になったのではないかと思います。

今後とも、当所の事業への御協力をお願い申し上げますとともに、大倉様のますますの御健勝と御活躍をお祈り申し上げます。